

報道関係者各位

2026年5月18日 配信
立命館アジア太平洋大学（APU）
公益社団法人ツーリズムおおいた

観光人材育成と地域連携を推進 立命館アジア太平洋大学と公益社団法人ツーリズムおおいた 包括連携協定を締結

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：米山裕、以下「APU」）と公益社団法人ツーリズムおおいた（大分県大分市、会長：和田久継）は、2026年5月18日（火）、包括連携協定を締結しました。

APUの国際性と教育研究機能、ツーリズムおおいたが有する地域ネットワークや観光地域づくりの実務知見を結び付けることで、学生と地域の観光関係者がともに学ぶ機会を広げ、大分県内における観光人材育成と地域連携のさらなる深化を目指します。なお、本協定は、ツーリズムおおいたにとって初めての包括連携協定となります。



【協定の背景と目的】

人口減少や担い手不足、観光需要の変化など、地域や観光を取り巻く環境が大きく変化する中、持続可能な観光地域づくりを進めていくためには、地域課題に対応できる人材の育成と、多様な主体が連携した実践的な取組の推進が重要となっています。

APUは、多文化共生環境のもとで国際教育・研究を推進し、観光や持続可能性、地域連携を含む多様な分野で人材育成に取り組んできました。ツーリズムおおいたは、大分県の観光地域づくりを推進する都道府県DMOとして、マーケティング、情報発信、観光人材育成、地域連携等に取り組んでいます。

両者が連携することで、教育・研究・地域実践をつなぐ新たな協働の場を創出し、大分県の観光振興と地域活性化、将来の観光産業を担う人材の育成につなげていきます。

【連携協力事項】

1. 観光の発展に寄与する人材の育成に関すること
2. 大分県の観光を通じた地域活性化、社会課題解決に関すること
3. 双方が保有する知見を活用した教育プログラムの開発と普及に関すること
4. 相互の人的交流に関すること
5. その他、本協定の目的を達成するために両者が合意した事項に関すること

【具体的な取り組み例】

1. 教育・講義連携
APUの観光・経営系授業において、ツーリズムおおいた職員が外部講師として登壇し、DMOの役割や観光地域づくりの実務、観光データの活用などについて講義を行います。
2. フィールド学習・インターンシップ連携
学生が県内の観光地域を訪れ、観光客動向や地域資源、観光事業者の取組などを調査しながら地域課題を整理し、その解決策を検討するフィールドワーク型学習や、観光分野におけるインターンシップ受入れ支援を進めます。
3. 観光DMP活用連携
「おおいた観光データカタログ」を教育・研究資源として活用し、来訪者データやSNS分析データ等を用いた地域課題の分析や研究活動の深化を図ります。
4. 観光人材育成プログラム連携
ツーリズムおおいたが実施する「おおいたツーリズム大学」と連携し、APU学生と観光事業者、自治体職員、DMO職員などがともに学ぶ機会を創出します。
5. 研究・政策提言の共同推進
観光人材育成や地域観光経営に関する共同研究を推進し、その成果を県内DMOや観光関連事業者と共有するとともに、将来的には観光施策や政策提言、学術発信にもつなげていきます。

【今後の展開】

本協定に基づく取組の第一歩として、APUにおける授業連携や、地域課題分析を伴うフィールド学習、観光データを活用した教育・研究連携などを進めていく予定です。2026年5月15日には、APU大学院科目「Tourism Policy and Planning」において、ツーリズムおおいた職員による講義も予定しています。

【代表者コメント】

■立命館アジア太平洋大学 学長 米山裕

立命館アジア太平洋大学 (APU) は、2000年の開学以来、観光分野における教育・研究に体系的に取り組んできました。2023年には大分県内で唯一、観光を専門とする「サステナビリティ観光学部」を開設し、観光と持続可能性を統合した教育を通じて、地域社会と連携した実践的な人材育成を推進しています。サステナビリティ観光学部は観光教育の国際認証「TedQual」を受けており、国際的にも高く評価された教育を展開しています。

このたびの協定は、地域連携DMOとして、大分の観光地域づくりの実務を長らく担ってこられたツーリズムおおいた様と、本学が有する教育・研究の知的基盤および教員・学生の人的リソースとを結び付けるものです。APUとツーリズムおおいた様の協働により、持続可能な観光を通じた大分地域のさらなる発展に、ともに貢献していきたいと考えています。

■公益社団法人ツーリズムおおいた 会長 和田久継

観光を通じた地域づくりを進めていくうえで、大学との連携は、将来の観光産業を担う人材育成と地域課題への対応の両面から大きな力になるものと考えています。立命館アジア太平洋大学は、サステイナビリティ観光学部を有し、観光を専門的に学べる環境が整っていることに加え、多様な国・地域の学生が学ぶ国際性を備えており、こうした特長は大分県の観光振興にとっても大きな強みです。ツーリズムおおいたは、都道府県DMOとして、大分県の観光地域づくりや観光人材育成に取り組んでまいりました。本協定を通じて、学生、大学、地域の観光関係者がつながり、教育・研究・実践が循環する取組を進めることで、地域課題への対応と将来の観光産業を担う人材育成につなげていきます。APUとの連携を通じ、大分県の観光振興と地域連携のさらなる深化を目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

立命館アジア太平洋大学 (APU)
全学企画オフィス 広報・ブランディングチーム
担当：井口 (いのくち)
〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1
TEL：0977-78-1114
Email：r-apu@apu.ac.jp

公益社団法人ツーリズムおおいた
担当：塚本
〒870-8501 大分県大分市大手町3-1-1 大分県庁舎本館7F
TEL：097-536-6250
Email：tsukamoto@we-love-oita.or.jp